

豊明市議会議員 殿

### 行政等視察報告書

議員名 一色 美智子

30年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年 月 日	視察先	視察項目及び成果等
平成30年7月2日	広島尾道市 尾道市立市民病院	「地域包括ケアシステム」について
7月3日	鳥取市境港市 境港市役所 水木しげるロード	「議会基本条例検証事業」について 「街並み整備事業」について
7月4日	鳥取県雲南市 雲南市役所 ホシザキ島根工場 ホシザキグリーン 財団 宍道自然館 コビウス	

豊明市議事課

30.7.13

分類 . . 30-10-5-1

可・否・一部否・一時否

第523号 受付

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

## 平成30年度 公明党市議団視察報告書

一色 美智子

平成30年7月2日（月） 広島県尾道市（尾道市立市民病院）  
「地域包括ケアシステム」について

3日（火） 鳥取県境港市  
「議会基本条例検証事業」について  
「街並み整備事業」について

4日（水） 島根県雲南市  
「災害発生時の初期始動」について  
「ホシザキ株式会社島根工場」見学  
「グリーン財団ホシザキ」

### 参加者

ひまわり 毛受明宏・近藤郁子・鵜飼貞雄  
三浦桂司（4日雲南市役所から）  
公明党 近藤千鶴・一色美智子

平成30年7月1日（月） 広島県尾道市  
「地域包括ケアシステム」について

広島県尾道市は、人口約14万400人 面積285.11Km<sup>2</sup>  
名前の由来は地形的な呼び名「山の尾の道」、船の航路を表す「瀦（み  
お）の道」という説がある。

県東南部にあり、1169年の尾道港開港以来、瀬戸内の代表的商港都市  
として発展。

映画のロケ地としても有名。全長約70kmのしまなみ海道は、世界から  
も魅力的なサイクリングロードとして注目を集めている。

05年3月に御調町、向島町、06年1月に因島市、瀬戸田町と合併

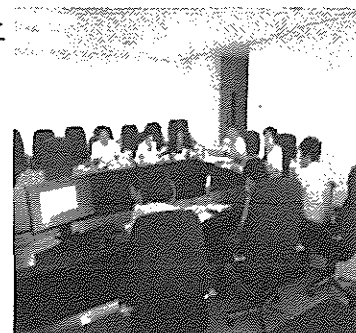
### 尾道市の高齢化率

34.2%（平成28年2月）・65歳以上の人口の3人に1人。

・高齢者の約6割が一人暮らしや高齢者のみの世帯、認知症も年々増加傾向が予測されている。

### 地域包括ケアシステム尾道（医師会）方式について

- ・急性期病院と開業院が一体となった、主治医機能を核とした在宅の地域医療連携が基盤となっている。
- ・治療だけでなく、生活の質に重点を置いた、保健・医療・介護福祉の多職種協働による利用者本位の長期的支援システム。
- ・社協や民生委員児童委員、公衛協等との連携で、地域で重層的に支えるシステム。
- ・ケアカンファレンスが尾道方式の特徴。



### ケアカンファレンスの目的

患者・家族が安心して在宅へ退院できるようにする。

急性期病院から「切れ目のない」医療・看護・福祉・介護サービスを提供する

### ケアカンファレンスの在り方

院内での治療・ケアを総括し、「患者」から「日常生活者」へ移行していくための情報共有と治療・ケアの連続性の保証の場でなければならない。

### ケアカンファレンスの効果

「顔の見える」連携⇒患者・家族の安心感⇒在宅チームとの連携・理解

患者・家族の思いを再確認⇒情報共有

医療・看護ケアの問題点とアセスメントを再確認

多職種との信頼関係⇒コミュニケーション

連携強化⇒スムーズな調整

顔見知りになる⇒退院支援の効率化



地域連携が意識していること⇒意思決定支援を重視している。

在宅支援で大切なことは生活者としての支援

医療者の考えではなく「患者・家族がどうしたいか」

退院は「治療からの離脱」ではない

「主な介護者」「支える家族」に介護力はあるか

患者家族はどんな生活になるのかイメージすることができない

患者や家族は「家にかえりたい／連れて帰りたい」「帰れない」と気持ち



は揺れ動く。

#### 《まとめ》

尾道市は地域包括ケアシステムの発祥の地であり、先進的な取り組みとされる「尾道方式」が現在に至り、成功した一番の要因は医師会が深く関係をして、安心と連携を保ってきたからだろうと思いました。

医師会では、以前から毎月20日に「二十日会」という親睦会を行っており、普段から顔の見えるつながりを持っている。とても大事な事だと思います。市民にとっては安心して満足ができるサービスが受けられる体制であります。

介護を受ける側の支援は各地だいたい進んで来ていますが、介護する側の支援はあまり考えられていない状況だが、これを今後考えていかなければならないと思い質問をしました。尾道市では介護をされる方の負担を考えエスパイト入院を行っている。10日～2週間介護者を預かってくれるそうです。本市でもこのようなサービスが提供されると良いと思いました。

地域包括ケアシステムの充実は超高齢化が進む中、今後も市民にとって最重要課題であり、住みなれた地域で高齢者が元気にいきいきと暮らすためにさまざま提案をしてみたいです。

7月3日（火） 鳥取県境港市

「議会基本条例検証事業」について

「街並み整備事業」について

鳥取県境港市は、人口約3万4千200人・面積約29.10Km<sup>2</sup>

鳥取県北西端の弓ヶ浜半島北部に位置し、東は美保湾、西は中海に面し南は米子に接し、北は境水道を隔てて島根県松江市と相対しており、三方が海に開けた自然条件のもとで、海を活かした産業基盤の整備が進められている。

島根半島が天然の防波堤の役割を果たす自然条件に恵まれ、古くから港を中心に発展してきました。

平成5年に境港市出身の漫画家、「水木しげるロード」オープン。平成15年に「水木しげる記念館」が開館した。

「議会基本条例検証事業」について

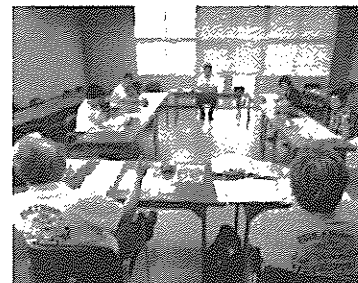


平成26年4月1日「境港市議会基本条例」を施行。  
市議会改革推進特別委員会を設置して、基本条例にもとづき改革を進めている。

条例の第28条（条例の見直し）で「一般選挙を経た任期開始後2年をめぐりに、条例の目的が達成されているかどうかを検証し、その結果に基づき必要に応じてこの条例の見直しなど適切な措置を講じなければなりません」と定め、その見直しにあたっては、第2項で「検証と見直しに当たっては市民の意見を聴く機会の確保に努めるものとします。」と定めています

平成28年2月が任期開始後2年に当たることから、市議会は平成27年7月から、この規定にそって条例に定めた理念具体的課題に対し、どこまで達成できたのかできていないのか、残された課題は何かを明らかにする検証作業を開始し、「基本条例検証最終報告書」を確定した。  
基本条例には理念規定とその実現のための具体的規定があり、検証作業と評価は、基本条例の基本理念にそって5つの項目に分けてある。

- ① 情報公開、説明責任に関して 評価70点
- ② 市民意見の把握、市民参加機会の拡大について 評価50点
- ③ 市長等との緊張関係の保持に関して 評価50点
- ④ 議会、議員の内部改革について 評価60点
- ⑤ その他の規定に関して 評価60点



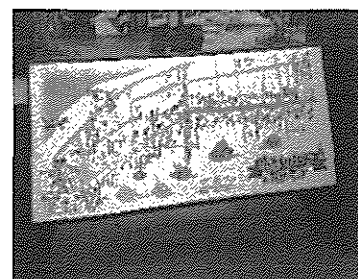
#### 政務活動費について

月額13,000円から20,000円に平成28年4月より条例を改正し月額7000円増額をした。

#### 《まとめ》

平成27年7月から平成28年2月まで7回特別委員会を行い、取りまとまらない時は持ち帰り、合意形成に力を注いだそうです。  
豊明市議会では平成26年に豊明市議会基本条例を施行して、現在見直しを行っている最中であり、政治倫理も合わせて作り上げようとしています。より良い基本条例になるよう、もっと開かれた議会になればと思います。

#### 「街並み整備事業」について

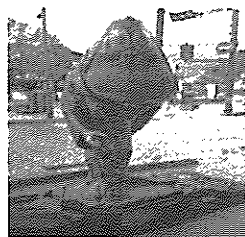


## 「水木しげるロード」・「水木しげる記念館」について 《まとめ》

水木しげるロードの入込客数は平成22年に過去最高の372万人を記録し、28年5月にはオープン以来の累計が3,000万人を突破県内でも有数の観光地として全国に情報発信をしている。

今年7月14日にリニューアルオープンを予定している。

記念館では、「ゲゲゲの鬼太郎」でおなじみの漫画家であり、妖怪研究科でもある水木しげる氏の作品と人生を迫力満点に紹介していました。妖怪の世界等素晴らしかったです。



7月4日（水） 島根県雲南市

### 「災害発生時の初期始動」について

島根県雲南市は、人口約38,800人 面積553.18㎡  
平成16年11月に6町村が合併し誕生。

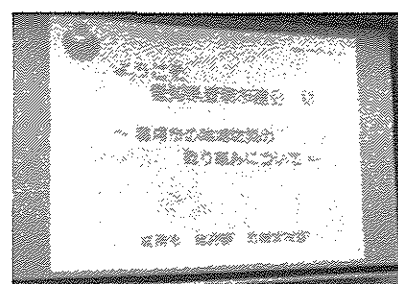
雲南市の由来は全国公募し決定した。出雲地方の南で「雲南」の名称が昔から住民の日常生活で使用されており、住民になじみやすく愛着のもてるものであるため名づけられた。

中国横断自動車道尾道松江線も平成27年3月に全面開通し29年6月からはトワイライトエクスプレス瑞風の運行が開始され、雲南市内の観光地を巡る立ち寄り観光が実施されるようになった。

### 「災害発生時の初期始動」について

#### 市内の地域自主組織について

平成19年に市内全域で結成完了



住民発意により発足をした

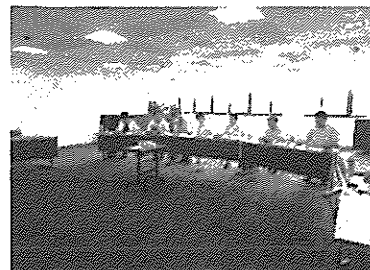
現在 地域自主組織数 30組織

拠点数 30交流センター

地域と行政は対等なパートナー

「円卓会議方式」とは

- ・フラット制（それぞれが対等な立場で参加）。
- ・直接対話方式により、共有、協議、協働を促進する場。
- ・主役はテーマ（共通のテーマを議論）。
- ・横の情報交換の場としても活用。
- ・分野別円卓会議も設ける。
- ・原則として公開し、透明性の確保と多様な参画を目指す。
- ・話し合いやすい規模で構成。
- ・「組織」ではなく、「会議」。地域課題の解決を目指す場。
- ・基本的には、会議ルールもこの場で確認し、決定。



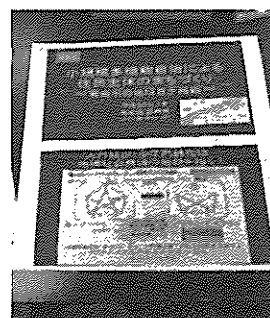
《まとめ》

「助けられる命は絶対に助けなければならない」と言われた担当者の言葉がとても印象に残っています。雲南市では3年間かけて地域に呼びかけ、足を運びみんなで地域住民でつくりあげたそうです。

最初は「なぜ市の仕事を自分たちがやらなければならないのか？」から始まり、地域性、温度差があり、全部は受け入れられないけど、この部分は行っても良いと少しずつ広がり、理解をして頂いたそうです。円卓会議の流れは、全体会、分散会、全体会と行っているそうです。本市でもこのような円卓会議が出来ればと思いました。

緊急連絡・安否確認カードは現在1895件提出がされ、1704件策定済です。

今後豊明市でも他地域の事例が共有できる機会をもっと設けると良いと思います。相互の状況を確認し合い、協働による防災力が向上していければと思いました。



ホンザキ株式会社島根工場見学

ホンザキ電機株式会社（島根工場）の概要

・操業開始：昭和45年1月 ・従業員数：約540名

- ・主要製品：全自動製氷機、業務用冷凍冷蔵庫、食器洗浄機、ビールディス  
ペンサー等

ホシザキグリーン財団 宍道湖自然館ゴビウス

島根の川と宍道湖・中海に生息する生き物の展示をし、体験学習型の水族館  
豊明市の大狭間湿地の整備のためにとホシザキ電気様からご寄付を頂いてお  
り自然を愛し守る心に感銘を受け感謝申し上げます。